

第69回全国消防技術者会議の開催報告

消防研究センター

11月25日(木)及び26日(金)の2日間にわたり、第69回全国消防技術者会議を昨今の新型コロナウイルス感染症の流行を考慮し、無観客でオンライン配信にて開催しました。この会議は、消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発の成果等を発表し、消防職員や消防団員をはじめとする消防関係者間での意見交換を行う場として昭和28年より毎年開催しています。今年度は「特別講演」、「令和3年度消防防災科学技術賞 受賞作品」、「一般発表」の3部構成で消防研究センター内にオンライン配信会場を設けて開催し、全47都道府県から3300名の参加申込みがありました。また同時に「第24回消防防災研究講演会」を開催しました。

「特別講演」では、元東京都副知事である令和防災研究所長の青山侑先生から「21世紀の災害と対応のための課題」として、感染症拡大により講師の方が当日配信会場にお越しただけないことも想定し、事前収録した動画を配信する方法でご講演いただきました(写真1)。

「令和3年度消防防災科学技術賞 受賞作品」では、令和3年度の消防防災科学技術賞を受賞した26件の内、発表希望のあった22件の講演及び質疑応答を行いました。オンラインでの講演方法は、発表者が事前作成した動画を配信し、質疑応答は消防研究センター内の配信会場で行っていただきました。

「一般発表」では、全国の消防関係者から研究成果の発表希望のあった10件の発表を行っていただきました。発表方法は事前作成した動画を配信し、質疑応答はWEB会議システムを使用し発表者の勤務先からご参加いただきました。この方法を今後行う場合、会場まで行く必要がないため、より全国から発表を行いやすくなると考えられます。

同時開催した第24回消防防災研究講演会は、「土砂災害における救助活動」をテーマとして6名の方の講演及び総合討論を行いました。発表者の中で1名の方がWEB会議での参加であったためWEB会議と配信会場との双方で総合討論を行う方法で進行し土砂災害への対応に関する活発な議論が行われました(写真2)。

今回の全国消防技術者会議の詳細については、決定次

第、消防研究センターホームページ (<http://nrifd.fdma.go.jp/>) 等によりご案内させていただきます。次回も多くの方のご参加をお待ちしております。



「21世紀の災害と対応のための課題」

伊勢湾台風1959
災害対策基本法1961
(2021年改正で勧告を削除、指示に一本化)

(市町村長の避難の指示等)

第60条①災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、人の生命又は身体を災害から保護し、その他災害の拡大を防止するため特に必要があると認めるときは、市町村長は、必要と認める地域の必要と認める居住者等に対し、避難のための立退きを指示することができる。

写真1 青山先生による特別講演(オンライン配信画像)

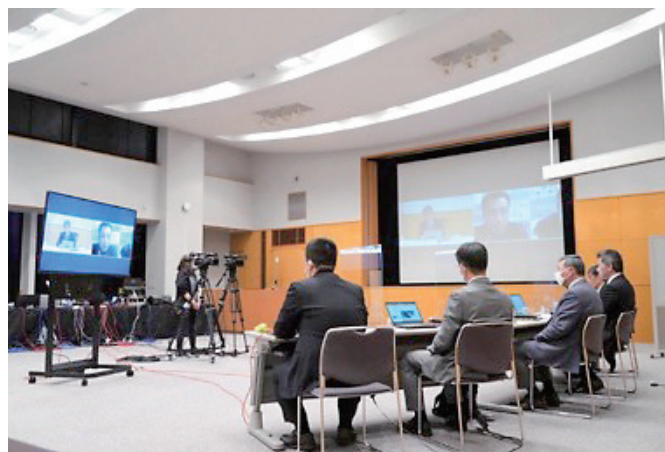


写真2 消防防災研究講演会での総合討論の様子
(画面にWEB会議参加者を映して進行)

問い合わせ先

消防庁消防研究センター
TEL: 0422-44-8331 (代表)